

「黒曜石巡検」催される。2年F組

去る6月30日(火)～7月1日(水)、道東の遠軽町白滝地区を中心に、2年F組ライフサイエンス(LS)の授業で地学巡検が行われました。見出しにもあるように、今回のキーワードは石器作りで有名な「黒曜石」(図1)。初日は、まず日本でも指折りの質と規模を誇るジオパークに向かいました。ここで北海道教育大学旭川校の和田先生を講師にお迎えして(図2)、降雨の中露頭の野外観察を行いました(図3)。二日目はジオパーク職員の方々のご指導で石器作りを初体験。苦勞しながらも皆作品作りに勤しんでいました(図4)。天候には恵まれませんでしたが、地殻変動や火山活動が土地を形成する原動力の一つであることや、旧石器人が自然環境に適応し、これを上手に利用してきた歴史を理解することができました。



図1 黒曜石(その辺にゴロゴロ)



図2 和田先生(赤茶の上着)の講義



図3 露頭の観察(足元に気を付けて)

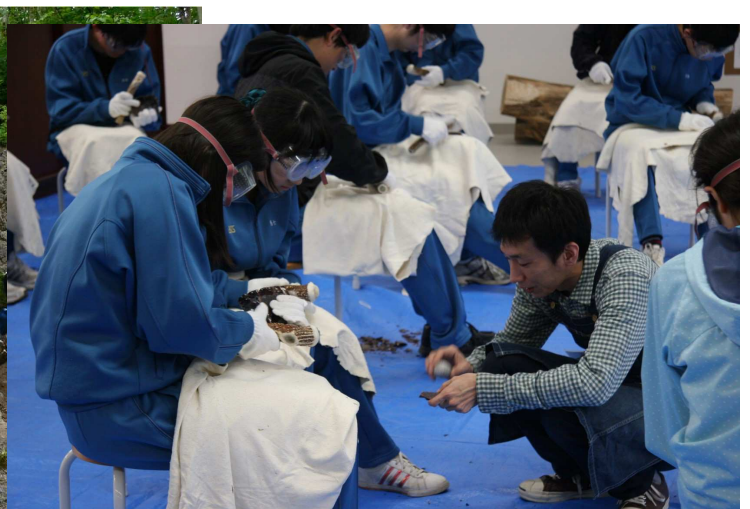


図4 石器作り(職員の方の指導を受けて)